

ショウジョウバエの名前が変わる!?

What's in a name? Fly world is abuzz

REX DALTON 2010年4月8日号 Vol. 464 (825)
www.nature.com/news/2010/100407/full/464825a.html

ショウジョウバエ属の再編成が提案され、
キイロショウジョウバエがショウジョウバエ属でなくなるかもしれない。

遺伝学研究のスター、キイロショウジョウバエ (*Drosophila melanogaster*) の学名が変わってしまうかもしれない。

2010年4月1日、全動物種の学名の命名を監督する動物命名法国際審議会 (ICZN; 英国ロンドン) は、ある裁定を下した。2年以上も議論が続いた、ショウジョウバエ (*Drosophila*) 属の分割再編成でキイロショウジョウバエの学名が消えないようにする提案を却下し、キイロショウジョウバエと近縁種の数百種を適切な学名に改名する準備に入ったのである。これは、ショウジョウバエ種を使って研究をしている生物学者にとって、エイプリルフールの冗談ではない。

ショウジョウバエの学名議論は、フロリダ州立大学 (米国タラハシー) の生態学者 Kim van der Linde が、キイロショウジョウバエをショウジョウバエ属の基準種にする提議を ICZN に出したのが発端だった。ショウジョウバエ属は1450種以上を含む大規模な属であり、一部はショウジョウバエ属よりも他の属のハエに近いことが遺伝学的に示されている。そのため、いつ行うかは別にして、属を分割するなど、分類を見直さねばならないのはほぼ確実視されてきた。

現在の基準種はスジショウジョウバエ (*Drosophila funebris*) だ。規約によれば、属を分割した場合、基準種を含むほうに元の属名が引き継がれることになっている。そこで van der Linde は、ほかの研究と同様、ショウジョウバエ属が分割されてもキイロショウジョウバエの学名

が変わらないようにしたいと考え、いわば先回りの提案をしたのだった。

しかし今回、23対4で van der Linde の提案は否決され、基準種はスジショウジョウバエのままいくことになった。ICZN の委員たちは意見書の中で、時期尚早だと評し、その理由をショウジョウバエ属の編成に関する科学がまだ定まらないからだとしている。

一方で、ショウジョウバエ属の分割に伴う命名の混乱を最小限にしたいという意見も強い。キイロショウジョウバエは、約350種が含まれるシマショウジョウバエ (*Sophophora*) 亜属に入る。そこ



Drosophila は属の再編成を迫られている。

でこれを独立させて新しい属とすれば、再命名しなければならない種は、キイロショウジョウバエを基準種にする場合の1100種よりも少なくすむわけだ。

現在のデータに基づきショウジョウバエ属の改訂版を出したなら、キイロショウジョウバエの学名はおそらく *Sophophora melanogaster* となるだろう。しかし ICZN の事務総長 Ellinor Michel は、この超有名なハエは、たとえ新しい学名が付けられても、元の学名でよばれ続けるだろうと語っている。

(翻訳: 船田晶子)